

警城時報

日八
編輯兼發行 岡田弘成
印刷所 加納活版所
發行所 警城時報社
一部金貳圓 一月金貳拾圓
廣告料 一行十二字 計五十五字
日刊(日曜祝祭日)翌日休刊

四百圓持逃げ男 和泉屋で捕はる

去月二十七日平町に食料品工場は先年大火の際平消防を買ひに出たまゝ、四百圓組小頭藤川佐伯氏が殉職しを拐帯行衛を睡ました赤井たけの工場であるが、村川瀬炭礦糧食部尾目彦彦々閉鎖と共に不用となつた太(二七)は平署で行衛搜た地上百尺の煉瓦の大煙突案中の處七日夜平町四町目を取りこわす事となつたが和泉屋旅館に潜伏中を草野九日朝からダイナマイトを町田町薬屋仲家方抱薬妓警察署に願ひ出た。仲子事池田ナカ(二一)の色香に迷つて四百圓を懐中に同人と遊び廻つてゐたものである。

矢田川の 改修陳情

鹿島村矢田川は先年下流を改修したが、飯野地内から上流千六百米が未改修なので志賀村長等が七日平土木監督所に改修方を陳情した。

煙突爆破

平町福宜町地内品川白練を監督所に改修方を陳情した。

抜け目のない男 金を取つた上口説く

湯本町宇傾城根本シヲ(三〇)七圓の半分宛をとつてゐたは昨年十二月飯野村大字中上最近では口説き寄るやう山無職加藤治郎(五二)の世になつたのでシヲは途方に話で平署から女工周旋の免許證を貰つたが、文治郎は俺のために免許證を貰つたのだから周旋料の半分を出せと脅喝し今日まで周旋し船越東線の大橋事一昨年十た七十余名の手数料一八分月二十七日の驟雨に於て郡た。

列車轉覆の 一周忌

山田の火事 山田村宇岸内農佐川寛方から七日午前一時頃火災し隠居部屋及び物置の二棟を全焼して晩秋蠶は桑葉の供給不能から遂に投棄するの止むな

山發午後三時五十分、平着同六時二十二分列車が川前驛を越え小川郷驛に疾走の途上にある午後六時頃夏井川溪谷中最も紅葉美を誇る籠場の瀧の上部に差しかゝるや濁流に洗はれて馳緩なつたので鐵道省では警越西線川前一小川郷の地點に各列車を臨時停車せしめ乗降客の便を計る事になつた臨時停車日割左の如し。
十月十一日、十七日、十八日、二十五日、十一月一日、三日、八日

紅葉時に 臨時停車

害を永く忘れしめざる様椿事の顛末を石に刻んで残されてあるが、仙臺鐵道局では福島運輸事務所と共に來る二十七日の一周忌に於て同供養塔前に關係者列席盛大なる法養を執行する由である。

豚の丹毒病 小名濱に三十九頭

最近各地に流行してゐる豚丹毒については縣當局でも係官を各地に派遣し之が豫防に努めてゐるが、最近またく發生し小名濱町寺廻り中野道太郎、舟田等、木村悦之助、三氏所有の豚三十九頭が豚丹毒と判明したので直ちに全町に亘り之が豫防注射を行ったが殆ど子豚である。

漁夫逃走

江名町中の作漁業家丸吉方雇人新湯縣新發田市本間松太郎(七)は六日夜無断家出したらしので雇主から平署に捜索方を願ひ出た。

桑葉が不足して 晩秋蠶投棄續出

暴風雨の被害

石城郡に於ける桑葉は過般きに至つたもの各方面にあり、晩秋蠶の收量は半減の状態であり被害は相當なものと豫想されてゐる。

全く姿を消した 鹿島村の正福院 檀家が疲弊して 再建の見込みなし

鹿島村大字上倉持眞言宗正福院は去る昭和四年二月末の同村大火で遂に炎上鳥有に歸したが、同寺院は由緒深いもので檀家が協力して木材を持ち寄り大工その他手間費一千八百圓を集めて再建した處本年夏地じりのため本堂が倒壊し僅か山門のみを残し全滅し、更に三日午後の颪風に遭つて遂に最後の山門までも吹き飛ばされたので同寺院は炎上後七(十七)の三名は去る九月年目で再び影を消した。檀家有志は八方奔走復興準備を進めてゐるが農家は何れも極度に疲弊してゐるので再建至難と見られてゐる。

少女三名逃走

内郷村宇高坂三ノ一(一)佐久間みよ(十四)同所大橋さく(十四)好間村小籠豊岡は十四日栃木縣足利市葉鹿町織物業樋口徳治方に女工として働いてゐたが、苛酷の労働に耐え兼ねた三名は十月四日の日曜日に各五十錢の小遣ひを旅費に佐久間みよの叔父に當る宇都宮市小袋町高永永三方に逃れて來たので高永永は種々不心得を論じ歸るやうすゝめたが「あんなひどい労働をさせる處には死んでも歸らない」と泣張るので持て余した高永永は人事相談所に願ひ出た。

ワラジ錢恐喝

新湯縣三島郡西越村生れ當の叔父に當る宇都宮市小袋町高永永三方に逃れて來たので高永永は種々不心得を論じ歸るやうすゝめたが「あんなひどい労働をさせる處には死んでも歸らない」と泣張るので持て余した高永永は人事相談所に願ひ出た。

感心な 果實屋

ある果實屋さんで廿世紀を買に来た子供達が集まつて忽ち食べてしまつたところがその翌日のことだつた、この果物店の子

で六日迄の出廻りは一萬二千五百六十圓四百六十圓、價格五萬九千二百七圓十四錢であつた。

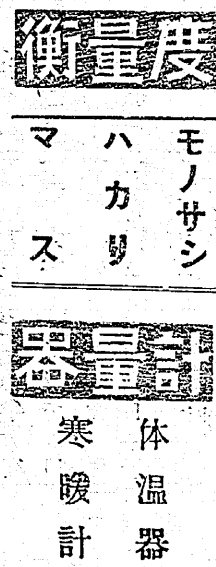
廣告
見習徒弟 才十六七
至急募集す
委細面談
加納活版部

カクテル
伊井外郎 352
レストランザロン

秋の新選品
婦人子供セーター
※最新型の婦人帽・子供帽も豊富陳列※
中野洋品店
平二・電五三

コンボーク
塩豚
平町田町
三三三三屋
電話三三三番

吸入用酸素 純度 99%



● 秤ノ取緒・鍾糸・修覆致シマス
● 寫真機 關内藥局
● 材料一式 電話四〇番

魚清自慢の

えび料理 始めました
 ◎ びび天井……………二十錢
 ◎ びびフライ……………二十五錢
 ◎ びび天ぷら……………二十五錢
 平三警察署裏(通リ)
魚清食堂
 電話六三三

かまぼこ 製造
折詰屋
 お惣菜用さつま揚・吉原揚
 平町一丁目
平三警察署
 電話一四一番

毎度御引立に預り難有御禮申上候
 さて本年も季節ご相成り蒲鉾製造を
 開始致候間多少に拘らず御用命の程
 御願申上候

蒲鉾 製造
 儀式折詰仕出し

さつま揚 外
 吉原揚 酒折詰

平藤市
 電三〇五番

外科一般レントゲン科
北川外科

平町新川町(諸橋醫院跡)
 醫學博士 北川芳夫
 小林良次
 電話四六四番

耳鼻咽喉科専門

鈴木正男
 鈴木正男
 平町田町藤田女學校前
 (電話五八番)

三百年の歴史を有する
家傳靈藥 消食散
 馬相ハンサキ 一名かけの藥
 代理店 丸龜商店
 平町大町
 電話一三三番

公周旋營業
 娼妓・藝妓・酌婦
 其他一切の周旋
 親切丁寧迅速に御周旋可申上候
 御來談アレ
 石城郡四倉町字蛸川百十一番地
 會津屋號 渡部辰五郎

外科 内臓外科
安齋醫院
 院長 安齋徹
 平町田町
 電話四七五

新設 産婦人科
安齋醫院
 醫學士 黒澤廣
 入院隨意

平町田町 (電話五二三番)
高久病院
 醫學士 高久忠
 新瀉醫學士 赤羽清
 藥劑士 佐竹菊雄

内科小兒科 外科花柳病科
 耳鼻咽喉科 レントゲン科

吉屋
 福島縣平町
 電話(營業部専用)一〇番
 (一般用)二七番
 振替東京一九七五五番
 明治生命 警城代理店 山崎與三郎

開院

皮膚科 泌尿器科 花柳病科 門專

診療 午前八時ヨリ
 午後九時マデ
 時間

平町田町(山内醫院跡)
江尻醫院
 電話六九一
 入院隨意 醫學博士 江尻伊三郎

産婦人科 院長 木村寅次郎
 醫學博士 内木宗八
藥局 藥劑師 大岩俊雄
 平町新川町十九
木村病院
 電話一六四番

警城共濟病院 電話六四一番

耳鼻咽喉科
大和田醫院
 平町南町(電話一七〇番)
 入院自炊の便あり